

## 事業概要

学校・地域の課題解決や活性化、特色ある教育活動の充実を図ることを目的として、道立学校3校がふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングを実施  
目標額:各学校30万円 募集期間:10月9日～11月8日

## 募集結果

**3校とも募集期間内に目標額達成！！  
多くのご支援ありがとうございました。**

## 実施校

### ○札幌琴似工業高校

「めざせ技能五輪！ものづくりコンテスト選手応援プロジェクト」



### ○小樽潮陵高校

「小樽観光防災プロジェクト～もしものときも安心！潮陵生が小樽を紹介～」



### ○中札内高等養護学校

「花と緑の村づくり」



## 目的

高等学校（中等教育学校後期課程を含む。）及び特別支援学校高等部の生徒が取り組んだ探究活動の成果を発表・交流する機会を設定し、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を育成するとともに、探究活動の成果を新たな探究に結び付け、生涯にわたって能動的に学び続ける資質・能力を育成する。

（主催）北海道教育委員会、国立大学法人北海道大学 （協力）北海道、札幌市、株式会社ニトリホールディングス

## 日程等

日時：令和7年2月1日（土）

場所：北海道大学 学術交流会館

8:45 受付

9:15 開会

### 北海道と海外の生徒による探究活動の交流 (Zoom)

- ▶ 北海道と海外の生徒が、Zoomを活用した探究活動の発表・質疑等の交流を実施※海外参加校数：3校

(昼食)

### 探究活動成果発表 (ポスターセッション)

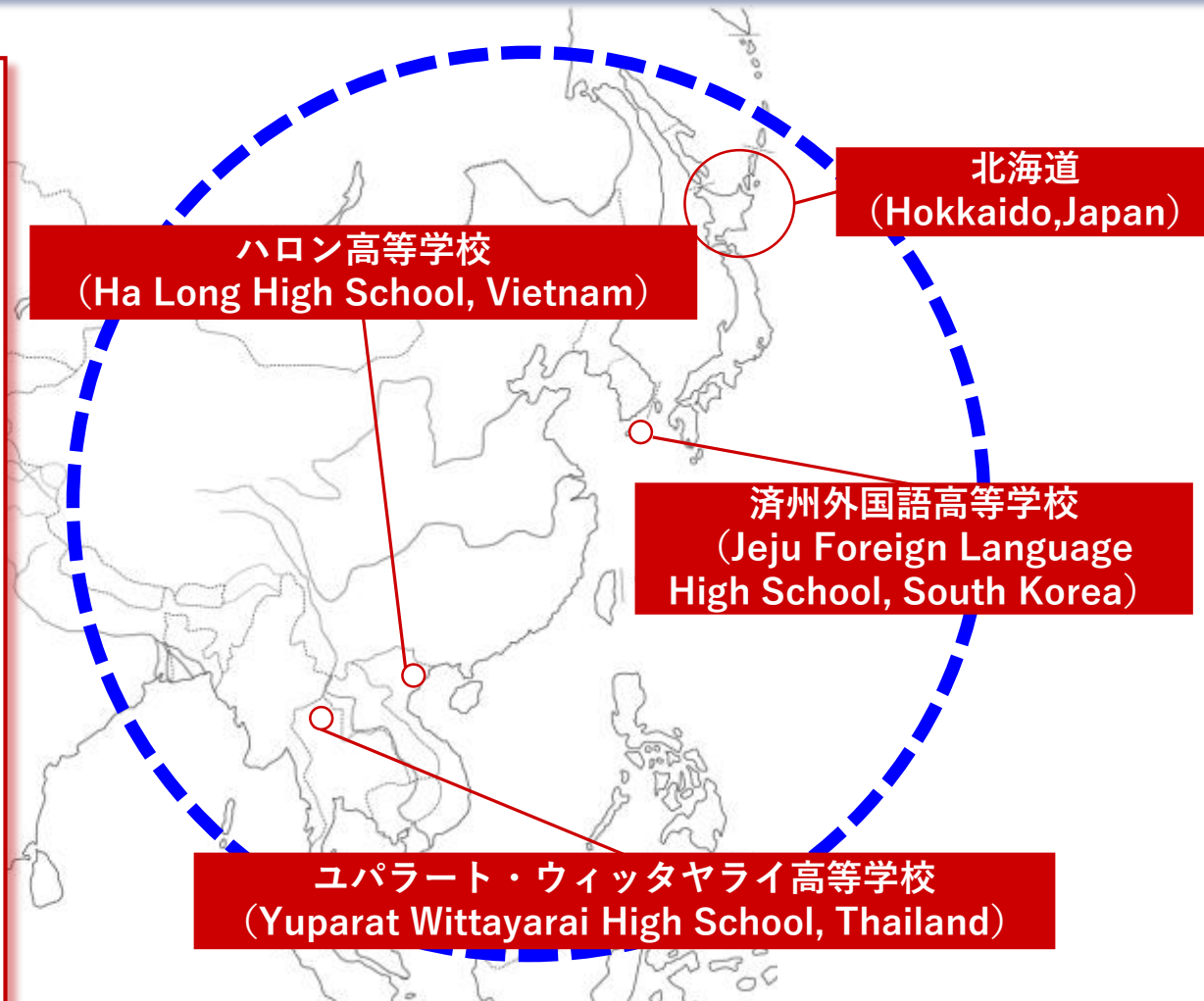
- ▶ 北海道内の各ブロック代表校等が一堂に会し、ポスターセッションによる交流を実施
- ▶ 参加数（想定）：29チーム
- ▶ YouTubeライブ配信：4校 (14:05～15:25)

15:25

16:00

### 表彰・閉会

北海道知事賞、札幌市長賞、北海道大学賞、ニトリ賞、英語発表部門賞、ゼロカーボン探究賞



## 課題

- ✔ 道教委の情報発信が、主に道教委事業等に関連する情報で、各学校などの独自の取組を取り上げた発信が少ない。
- ✔ 各学校等の取組を積極的・効果的に紹介できる仕組みづくりが課題。

## 取組

- ✔ note株式会社と連携協定を締結、同社の支援により情報発信プラットフォーム構築
  - ◇ 12月から順次 道教委及び各道立学校でアカウント開設（高機能な「note pro」を無償提供）
  - ◇ 1月中（目途）道教委note上で、各学校noteの発信を集約して発信する仕組みづくり



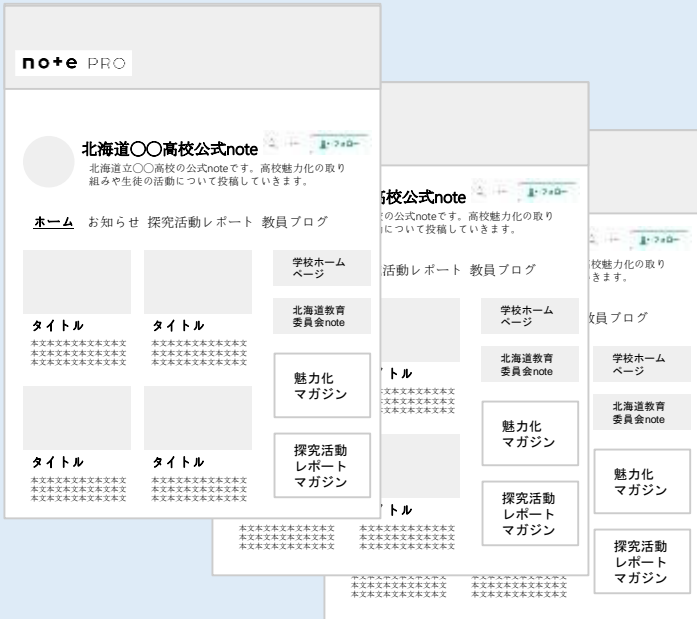

北海道教育委員会公式note  
<https://hokkaidopref-edu.note.jp/>

### 《noteの主な特長》

教育委員会と学校で連携した発信が可能

- 専門知識なしで直感的にページ管理、記事の投稿が可能
- 文章・画像・動画等で多様な発信が可能
- PC、スマートフォン、タブレットなど各種端末で縦画面でも見やすいレイアウトにより閲覧可

### 道教委noteと各道立学校による情報発信プラットフォームのイメージ

## ○ 支援チームの活動内容

道内において大規模な自然災害等の発生時に、被災地域に所在する学校の教育活動の早期復旧等に向けた支援を行う。

### <災害時の活動>

- |  |                               |
|--|-------------------------------|
| ア 学校の被災状況の情報収集                               | エ 児童生徒の心のケアに対応する教職員への対処方法等の支援 |
| イ 学校再開に向けた体制づくりへの支援                          | オ 教職員の心のケアに対する支援              |
| ウ 短縮授業等の応急教育計画の作成や給食再開のための計画立案等教育活動の早期再開への支援 | カ 学校避難所の開設初期段階への運営支援 など       |

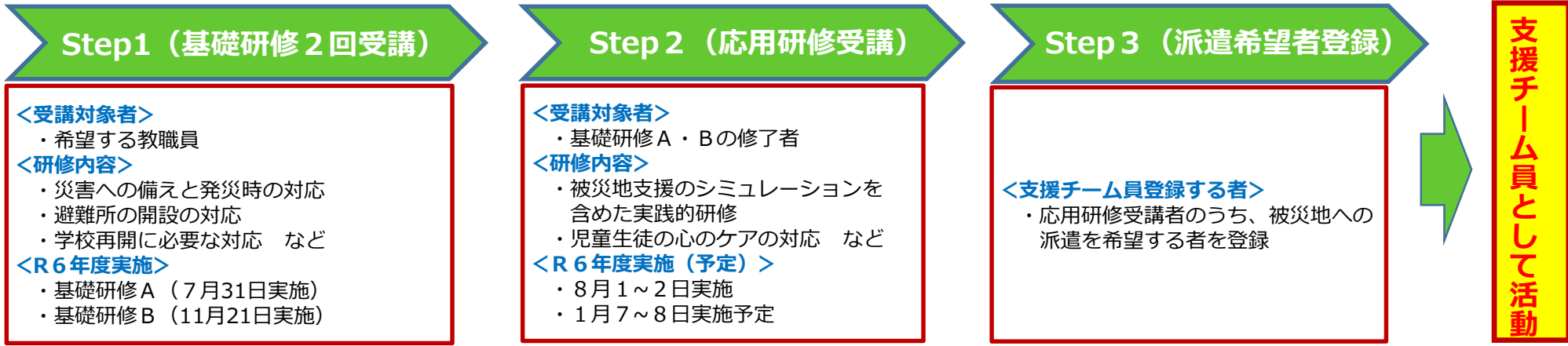


### <平時の活動>

- ア 防災教育に関する研修会等の講師
- イ 勤務校における防災教育の推進

\*他県等で大規模な自然災害等が発生し、国又は被災県等から道教委に対し派遣要請があった場合は、本要綱の規定を踏まえ、支援チームの派遣を別途検討する。

## ○ 支援チーム員として活動するまでの流れ



## ○ 支援チーム員の登録 (R6年度)

◇R4~R5において、道教委が実施した被災地域の学校支援に関する研修会を2回以上受講し、R6.8月実施の応用研修を受講した**23名を支援チーム員として初登録**

<登録者の内訳>

①学校教職員	11人 (道立学校2人、市町村立学校9人)
②道教委職員	12人
計	23人

◇R6の基礎研修受講者を対象とした応用研修をR7.1月に予定しており、研修終了後、支援チーム員の追加登録を見込んでいる